

# 第二次経営改革プランを策定しました!

吹く風もやわらかく、日差しも心地よく感じられる季節となりましたが、地域の皆様方にはいかがお過ごしでしょうか。

さて、このたび当院では、平成27年度までの4カ年計画による「公立山城病院第二次経営改革プラン」を策定いたしました。

平成21年に策定した23年度までの第一次プランの3年間は、医師や看護師等のマンパワーの充実、経営の健全化、連携診療システムの整備などの課題に取り組み、赤字経営からの脱却を図るなど、着実に成果を得ることができました。

第二次のプランは、昨年10月から組合構成市町村長をはじめ幅広いメンバーで「公立山城病院経営改革プラン第二次策定委員会」を組織し、第一次プランの進捗状況を点検する

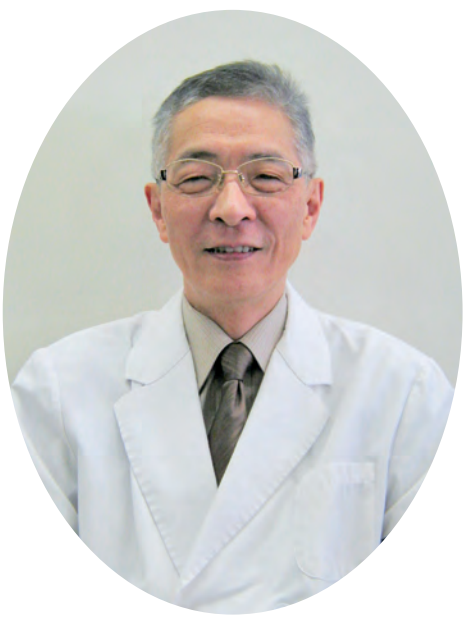


**第一次経営改革プラン以降の主な活動**

平成21年 1月	第一次経営計画(公立山城病院経営改革プラン)を策定
平成21年 4月	看護基準7対1取得
平成21年 4月	リウマチ科診療開始
平成21年 7月	DPC導入
平成23年 3月	京都府がん診療連携病院に指定
平成23年 4月	京都府地域リハビリテーション支援センターに指定
平成23年 7月	脳・心血管センター開設
平成23年 11月	京都府在宅療養あんしん病院に指定

- ◆市町村章◆
- 木津川市
  - 笠置町
  - 和束町
  - 南山城村

※DPCとは…従来の出来高払いとは異なり、患者の病気、病態をもとに、手術や処置などの内容に応じて診断群分類ごとに定められた1日当たりの定額の点数(包括点数)を基本に医療費を計算する方式です。



院長 中埜 幸治

## 京都府南部地域の中核病院として、ますますの充実を目指します。

とともに、山城南医療圏内の医療供給体制の現状分析と、当院の今後の役割について検討を重ねました。

国の医療制度改革により地域医療のあり方が大きく変化するとともに、地域住民の高齢化が進み、地域の中核病院として当院に求められる役割は今後ますます増大すると考えられます。その役割を果たすため、第二次プランにおいては、医師や看護師等のマンパワーの充実と併せて、健全経営を維持するなかで検査や治療のために不可欠な設備機器の整備を集中的に行い、病院基盤を強固なものとするにいたしました。

この諸課題を着実にクリアしていくため、職員全員が各々の責務を自覚し、鋭意取り組んでまいります。



# 公立山城病院新聞

日本医療機能評価機構 認定病院  
Yamashiro Public Hospital

発行元  
公立山城病院  
電話.0774-72-0235  
発行元責任者  
中埜 幸治

## 5年ぶりに黒字決算となりました!

平成22年度におきましては、医師の増強による診療科の充実に取り組み、また第一次経営改革プランに沿った病院運営を行いました結果、病院事業収益5,832百万円、病院事業費用5,789百万円で当年度純利益43百万円となり、5年ぶりに黒字決算となりました。

## ◆構成市町村長から一言◆

今回の公立山城病院経営改革プラン第二次策定委員会で、当院の医師、医師会、京都府、保健所、住民代表の方にそれぞれの立場からご意見をいただき、それによって我々も現状の理解を深めることができたと考えています。また、いま何が問題でどうなっているのかを分析していただいたことで、何に取り組みればよいかが明確になり、年度計画を決めて取り組むことで確実性のある計画になっていくものと考えています。

我々も職員と一体となり「公立山城病院第二次経営改革プラン」の目標を達成するために努力をし、地域住民の皆様へ良質な医療を提供していきたいと考えています。

## 計画目標

健全経営を維持しつつ、当院の長期ビジョンを見据え、今後4年間で病院の基盤を重点的に整備します。具体的には、医師・看護師等のマンパワーを引き続き増強するとともに、中核病院に求められる主要な医療機器等の更新・整備を集中的に行なっていきます。

●計画期間/平成24年度から平成27年度までの4カ年

## 沿革

## 開設以来、公立山城病院はチーム医療を推進し、医療の質とサービス向上に取り組みできました。

当院はこれまで地域の医療需要に適切に対応し、京都府南部の中核病院として地域医師会などと連絡協議しつつ運営を行ってきました。また財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価の認定、臨床研修病院の指定等取得し、チーム医療の推進を行い、医療の質や患者さまへのサービス向上にも取り組んでまいりました。

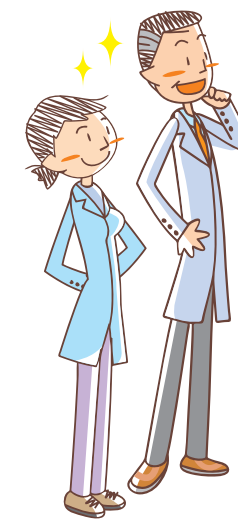
また、高齢化がすすむ診療圏の需要に伴って、平成19年度には介護老人保健施設を開設し、平成21年度には最上位の看護配置である7対1看護を導入。同時に、DPC病院\*にも参加するなど、地域医療を支える歩みをすすめてまいりました。今年度は、第一次経営改革プランに引き続き、第二次経営改革プランを策定することにいたしました。

# 長期ビジョン

おおむね10年後にあるべき姿

## 1 府下トップレベルの医師陣

●先進的な急性期病院なみの医師数  
●優れた技能と意欲を持ち、バランスが取れた医師陣



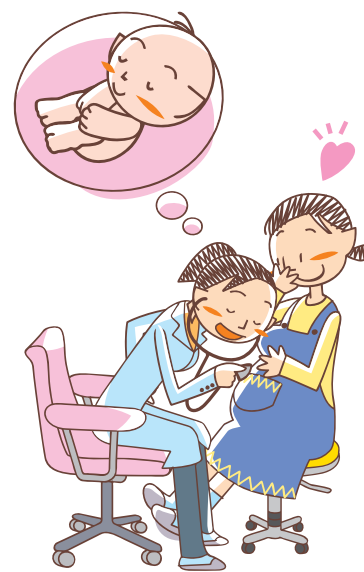
## 2 優れた医療職を確保・定着・育成

●優れた人材が集まり、定着率が高い  
●人材育成のシステムが整い職員が成長している  
●最上ランクの看護職配置により手厚い医療を提供  
●充実したコメディカル、専門事務職が高度医療を支える



## 3 中核病院にふさわしい病院の指定や施設基準

●地域医療支援病院  
●ICU\*1、HCU\*2、NICU\*3等の重症管理病床 など



## 4 連携診療システムによる医療機関同士の機能分担

①地域病院との連携  
●病院間で機能分担して相互連携  
②診療所との協働、在宅医療の後方支援  
●一般外来と一次救急は診療所が担当  
●スムーズな患者紹介受け入れと逆紹介  
●患者情報を共有化し、地域連携クリニカルパス\*4を充実



## 5 地域全体の医療充実への貢献

●緩和ケア病棟または医療療養病床の増設の検討  
●山間部診療所の診療支援の検討



## おかげさまで当院は今年開設60周年を迎えることになりました。

公立山城病院は、昭和27年に、相楽郡木津町外7カ町村国民健康保険組合設置の許可を受け、直営診療施設として誕生しました。開設60周年にあたる今年の10月には記念式典を開催し、構成市町村の住民を対象に記念イベントを行う予定です。

# 「看護師再就職支援講習会」

～職場復帰を応援します～

結婚・出産・育児などさまざまな理由で仕事から離れている方、現場復帰はしたいけれど不安を抱えている方、そろそろ再就職を考えている方を支援する講習会を開催します。

みなさまのご参加をお待ちしております

開催日程

平成24年 6月20日(水)	10時～15時
平成24年10月17日(水)	10時～15時
平成25年 2月20日(水)	10時～15時

対象 看護師資格取得者  
会場 公立山城病院9階会議室  
内容 採血、静脈注射、医療機器の操作(輸液ポンプ、シリンジポンプ)吸引、電子カルテの操作、院内見学など

参加費 無料 昼食はこちらでご用意いたします。  
申し込み方法 公立山城病院 電話(0774-72-0235)総務担当 メール(ns0001@yamashiro-hp.jp)でお申し込みください。



# 看護師募集

～地域の中核病院で一緒に働きませんか～

## 待遇

- 地方公務員
- 期末勤勉手当 年2回(6月、12月)
- 定期昇給 年1回
- 主な諸手当 地域手当・通勤手当・時間外手当  
夜勤手当・夜間看護手当・住宅手当  
扶養手当
- 福利厚生 院内保育所完備  
育児休業制度、互助会慰安旅行・忘年会等

◎お気軽にお電話ください。

Tel 0774-72-0235 事務局まで  
http://www.yamashiro-hp.jp



※1. ICU… [Intensive Care Unit/集中治療室] 重篤な救急患者、重症患者、手術後の患者等に対して、専任の医師、看護配置のもとで適切な処置を行い状態が改善するまで収容する治療室。  
※2. HCU… [High Care Unit/ハイケアユニット] ICUでの治療を終了した患者を対象とする治療室。  
※3. NICU… [Neonatal Intensive Care Unit/新生児集中治療室] 超未熟児や重症疾患を有している新生児を集中的に治療し救命するための治療室。  
※4. 地域連携クリニカルパス…地域内で各医療機関が共有する、各患者に対する開始から終了までの全体的な治療計画(急性期病院から回復期病院を経て自宅に帰り、かかりつけ医にかかる診療計画であり、医療連携体制に基づく地域完結型医療を具体的に実現するもの)。



# 地域住民の安心・安全を確保するため中核病院として ふさわしい診療体制の充実をはかります。

公立山城病院的診療圏は2020年、推計人口が233,657人に増加が見込まれています。これは2010年と比較して、約3パーセントの人口増加にあたります。これにもなると、65歳以上の人口が約36.5パーセント増加するものと予測されています。

こうした地域の状況と医療制度の改革や社会動向の変化に伴い、公立病院を取り巻く環境も一段と厳しくなっています。これまで以上に持続的かつ安定的な医療を提供していくため、今年度より第二次経営改革プランを推進する運びとなりました。地域のみならずの健康維持と増進を最優先におきながら、良質な医療と質の高いサービス体制の提供を目指します。将来にわたって、地域医療の確保とサービスの向上に寄与していくため、山城病院の設置趣旨・目的を再確認し、次の基本的な考え方に基いて健全経営に取り組んでまいります。

## 具体的な取り組み内容

### 1 施設設備の充実

- (1) 電子カルテの更新
  - 診療の基盤となる情報システムを更新し、チーム医療の充実をはかります。
- (2) 医療機器の計画的な整備・更新
  - 建物設備等の改修
  - 電気・空調設備など、経年劣化した設備を更新
- (3) 業務システムの整備
  - 会計システム、人事管理システムなどを整備
- (4) 業務システムの整備
  - 断らなくて済む救急医療体制の実現
  - 入院受入体制、コメディカルの診療体制充実など救急応需体制の整備
  - 時間外軽症患者への選定療養費導入の検討
  - 軽症・一次救急患者の地域診療所との機能分担
  - 病床の有効活用(重症急性期病床の設置を検討)
  - マンパワーの確保をはかるなかで対応
  - 医療の質や患者サービスの向上
  - 引き続き医療安全管理体制の強化および利用者の声の収集とサービス改善



### 2 診療体制の充実・強化

- (1) 医師陣の増強
  - 内科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、麻酔科、病理診断科を重点的に増員
  - 医師事務作業補助者の充実による医師の負荷軽減
- (2) 看護職の充実
  - 採用活動強化、待遇改善、離職防止策、就業環境整備などを集中的に実施
  - 外来の診療補助者、病棟の看護補助者などの充実
- (3) コメディカルの充実
  - 病棟配置制度に伴う薬剤師の増員
  - リハビリスタッフの増員
  - 臨床工学技士の増員
  - MSW(医療ソーシャルワーカー)、退院調整看護師などの配置を検討

### 4 連携診療システムの整備

- (1) 紹介型病院・救急病院への転換
  - 医師会や構成市町村等と連携し、病院の役割やかかりつけ医を持つことの必要性について周知
  - 紹介状のない初診患者の選定療養費引き上げを検討
- (2) 連携基盤の整備
  - 引き続き地域医療連携室の受付時間拡大などについて検討
- (3) 診療所との協働
  - 症状が安定した患者の診療所への逆紹介の徹底
  - 診療所からの紹介患者のスムーズな受け入れ
- (4) 在宅医療の後方支援
  - 地域医療連携室に退院調整看護師の配置を検討
- (5) 山間部診療所の診療支援
  - 在宅患者の緊急時入院受け入れを強化
  - 介護老人保健施設やましろとの連携を強化



### 3 医療機能の強化

- (1) 重症管理病棟の設置を検討
- HCUの施設基準を充足して管理料を算定
- ICUの施設基準を充足して、HCUからICUに転換

## 基本的な考え方

### 1 持続的・安定的に医療を提供するための健全経営

- (1) 経営の健全性確保は、持続的・安定的な医療提供の前提となるものです。そのためにも、より経営的な企業性を発揮し、自立的な事業運営に努めます。
- (2) 医師・看護師等の医療スタッフや、当院が有する医療資源を有効活用していく観点から、必要な部門に職員を適正に配置します。さらに、新しい施設基準を取得するなど、診療報酬制度に的確に対応してまいります。
- (3) 材料費や経費、人件費などの病院事業費用について、コスト意識を持って徹底して見直すなど節減にも取り組みます。
- (4) 日々の病院運営を担うのは、医師や看護師をはじめとする職員です。職員一人ひとりが経営参画意識を高めながら経営の健全化に正しい意識と関心を持ち、主体的に取り組んでいく環境づくりをすすめます。

### 2 地域の医療事情に対応した診療機能の提供

- (1) 医療技術、マンパワー、医療機器等の面で要求される水準が高いため、民間医療機関での対応が困難な高度医療や、診療報酬体系等の理由で採算性の確保が困難であるが、地域住民の健康維持に必須であるなどの政策的医療分野を担います。
- (例：救急医療、がん医療等)
- (2) 地域特性や医療機関の整備状況、診療所等との連携、役割分担等を踏まえながら、地域で質的・量的に不足する医療分野を担います。
- (例：脳卒中や急性心筋梗塞など循環器系の疾患に対する医療、小児医療、周産期医療等)

### 3 患者本位の医療、患者サービスの向上

- (1) インフォームド・コンセントの徹底や患者さまと医療従事者との信頼関係の確立、診療情報の共有化や患者さまのプライバシー保護の推進等により、患者さまの立場や選択を尊重した医療の提供に努めます。
- (2) 医療従事者の資質の向上をはかり、質の高い医療の提供に努めます。また、医療安全部門の機能を強化し、医療事故防止対策の充実および事故発生時の確かな対応をはかることにより、安全・安心な医療の提供に努めます。
- (3) 病院の「主役」である患者さまが癒しの場にもふさわしい療養環境のもとで治療が受けられるよう、病院内の施設、機能の充実をはかります。さらに、患者さまの心理に十分配慮した職員の適切な対応などサービスの向上にも努めます。

**新任お祝い**  
昨年10月に整形外科医が  
就任しました!

平成23年10月1日より、  
整形外科医として山城  
病院で仕事をさせて頂  
いています。昭和59年山  
口大学卒で卒業京都府立大整形外科に入局  
し、これまで大学附属病院、明石市民病院、済生  
会滋賀県病院、大阪労働衛生センター第一病院、  
済生会京都府病院、京都武田病院、宇治病院と  
府立医大関連病院をまわってまいりました。と  
くく前任の宇治病院には14年と長期にわたり、  
現在私自身も宇治に在住しております。

山城病院は整形外科常勤医が3年余り不在で  
あったとお聞きしております。大学教授や医局  
長からくれぐれも頑張るようにと、指示を受け  
着任いたしました。大学では外傷・骨折グルー  
プで研究、修練を受けました。山城病院は救急、  
外傷患者さんが多いとのこと。微力ですが、少  
しでも地域のみなさまに貢献できればと思っ  
ておりますので、なにとぞよろしくお願い申し上  
げます。

整形外科部長  
吉田 宗彦

地域の医療と健康の絆  
Message From Hospital

**かかりつけ医を  
持ちましょう!**

みなさまは「かかりつけ医」をお持ちですか。かかりつけ医とは、病気やケガをされたときいちばんに診ていただく身近なお医者さまのことです。ふだんからみなさまと接していただけるため、健康状態や病歴をよく「存じいらしやいます。万、重篤な病気にかかったりしても、最適な病院を紹介していただくことができます。当院でも地域のお医者さまと連携を取る医療連携を行っています。そうした場合、お医者さまから紹介状とともにみなさまのカルテも一緒に伝達されてくるため、病状に対しても迅速かつ適切な医療を行うことができます。当院と地域のお医者さまとの信頼関係、そして地域のお医者さまとみなさまとの信頼関係。こうした信頼の絆が一つ一つ重なり合って、地域医療全体の発展と充実につながっていくのです。

## 脳・心血管センター<平成23年7月開設> 脳・脊髄センターとハートセンターを備え、 地域のみなさまの安心を見守ります。



### 脳・脊髄センターでは...

よりスムーズな  
脳血管障害診療を

神経内科部長  
岩本 一秀

脳卒中急性期の  
迅速な対応や  
予防手術など

脳神経外科部長  
岩本 芳浩

### ハートセンターでは...

地域最大の  
救命センターとして  
急性心筋梗塞の  
救命率は90%以上\*

循環器科部長  
富安 貴一郎

